



本日の  
プログラム

## 北海道ガスの取り組みについて

北海道ガス(株)代表取締役社長 川村智郷 氏

## 北海道を取り巻く金融経済情勢

日本銀行札幌支店長 岡本宜樹 氏

本日は札幌東ロータリークラブでの卓話の機会を頂きまして光栄に存じます。日銀札幌支店は、北海道の経済情勢を把握し、本部での金融政策運営に活用するとともに、地域の皆様にも共有し、日々の経済活動に役立てて頂くことを主要な任務の一つとしています。

世界経済の状況を見ると、コロナ禍から立ち直ってはいますが、成長率は過去の平均をやや下回っており、ボチボチだが冴えないといったところです。ロシアによるウクライナ侵攻以降の物価急騰への対応として、欧米各国では利上げを行い、これが経済のスローダウンに繋がっていますが、それでも米国経済は強め。一方、中国の成長率はコロナ前よりも切り下がり、世界の成長エンジンとしての勢いを失っています。インドが注目ですが、中国に取って替わられるかはまだよくわかりません。

日本経済については実質GDPがコロナ前のレベルに戻ったところです。今後の見通しについては、日銀が「展望レポート」として四半期ごとに公表していますが、2023年度以降1%台半ばの緩やかな回復が続くとみています。

一方、物価高が長引いています。物価が上昇したのは22年の輸入物価の大幅上昇が起点でした。1年半以上が経った今も、消費者物価指数の上昇率はなかなか下がってきません。ただ、輸入物価上昇の影響は時間とともに減衰すると思われます。

今年は物価高の下で、数十年ぶりの大幅な賃上げも進みました。連合によると、賃上げ率は3%台半ば。最低賃金の引上げも行われ、組合のない中小企業でも多くの先で賃上げを実施しています。

景気と物価の先行きを占ううえで、こうした賃上げが今後も続くのかが極めて重要です。景気拡大のカギとなる個人消費が伸びるために賃金上昇が不可欠です。賃金が上がり、消費者の購買力が上がると、需要の増加による物価の上昇が生じますが、それが新たな賃上げ原資を企業にもたらします。来年度の賃金が上昇を続けると、こうした物価と景気の好循環が2回転目に入ることになります。最近の動きを見ていると、長年、定着していた、賃金・物価が上がりにくいことを前提とした慣行や考え方方が変化を始めているように感じます。日銀の金融政策も、こうした流れの定着を見定めつつということになります。

前回の日銀支店長会議での全国各地の景況感を見ると、9地域中6地域が上向いています。「回復している」のが九州沖縄のほか、北陸、関東甲信越、中国。北海道は「持ち直している」で、各

地の中では中位の立ち位置です。

北海道の景気を支えてきたのは、個人消費です。スーパー、コンビニ、ドラッグストアなどの売上を見ると、いずれも右肩上がりになっています。コロナが5類になってからまだ半年。行動の制約がなくなり人流が回復しています。コロナ時代に節約した分を取り返すといった消費も続いている。観光が基幹産業であることも追い風になっています。入込客数は、コロナ前の水準まであと一息ですが、円安でインバウンド客がリッチであることもあって、単価は上昇しています。サービス業種を中心に、人手不足で稼働率を上げきれないといった課題はあります。物価上昇で、消費者の節約志向も少しずつ広がっていますが、消費が大きく崩れる状況ではありません。

これからエンジンとして期待されるのは、設備投資や公共事業などの建設投資です。北海道新幹線札幌延伸や札幌再開発、ニセコのリゾート開発、半導体工場の建設、さらには洋上風力など、多彩なプロジェクトが目白押しであり、全国で指折りの投資案件に恵まれた地域と言っても過言ではありません。

ただ、こうした需要にこたえる供給力の確保が問題になります。建設コストの上昇や人手不足により、住宅投資がこのところはっきりと減少しているほか、札幌再開発も計画の遅れや案件の見直しが広がっています。今後、企業の設備投資全般についても、緊急度の高い案件に押しのけられ、様子見が広がっていく気配がない訳ではありません。ただ、供給力の不足、特に人手不足は構造的に続くのでしょうか。その克服を含め、新たな成長力を確保していくためにはDXを含め設備投資の効果的な活用が不可欠です。リソース不足とうまく折り合いをつけ、必要な投資を着々と実現し、新たな成長力を確保していくのが問われている局面といえましょう。

本日は我々の金融経済情勢に対する見方をご紹介する機会を頂き誠に有難うございました。



■本日のロータリーソング

君が代、四つのテスト

2023-2024年度 国際ロータリーのテーマ

「世界に希望を生み出そう」

国際ロータリー会長:ゴードン R.マッキナリー



CREATE HOPE  
in the WORLD